

報道関係各位

2014年9月10日
株式会社カンター・ジャパン

アルコール飲料を毎日飲む人の割合が 24カ国中1番高いのは日本

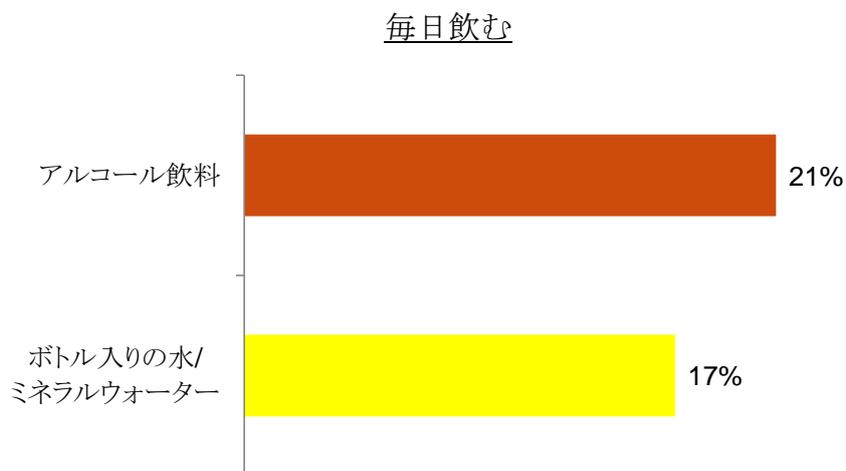
市場調査会社の株式会社カンター・ジャパン(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:大竹秀彦)は、日本を含む24カ国の市場トレンドと将来予測情報(名称:「グローバル・モニター」調査)を企業に提供しています。

今年の2月から3月にかけて16歳以上の消費者を対象に実施した調査によると、アルコール飲料を毎日飲むと回答した人の割合は21%で、24カ国中最も高い数値でした。

*飲酒が認められる年齢は国により異なりますが、この調査では対象者の条件である16歳以上で集計した数値を比較しました。

■ 日本人の5人に1人は毎日何らかのアルコール飲料を飲んでいる

日本の消費者に対し、アルコール飲料とボトル入りの水/ミネラルウォーターの摂取頻度を聞きました。すると、アルコール飲料を毎日飲むと回答した人の割合が21%、ボトル入りの水/ミネラルウォーターを毎日飲むと回答した人の割合が17%でした。



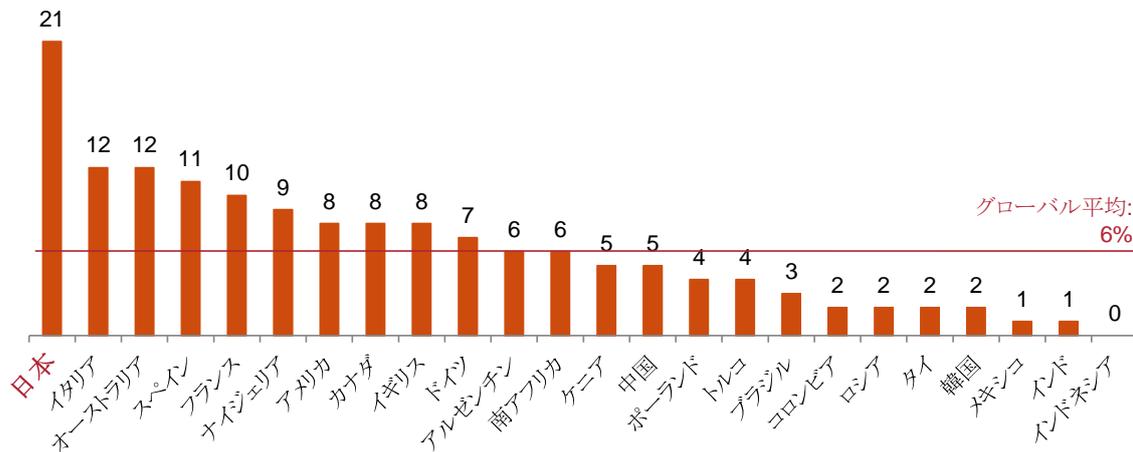
調査名:グローバル・モニター2014、出所:ザ・フューチャーズ・カンパニー社

News Release

また、アルコール飲料を毎日飲むと回答した人の割合では、24 カ国中日本の 21%が最も高い数値でした。

毎日アルコール飲料を飲む

単位:%



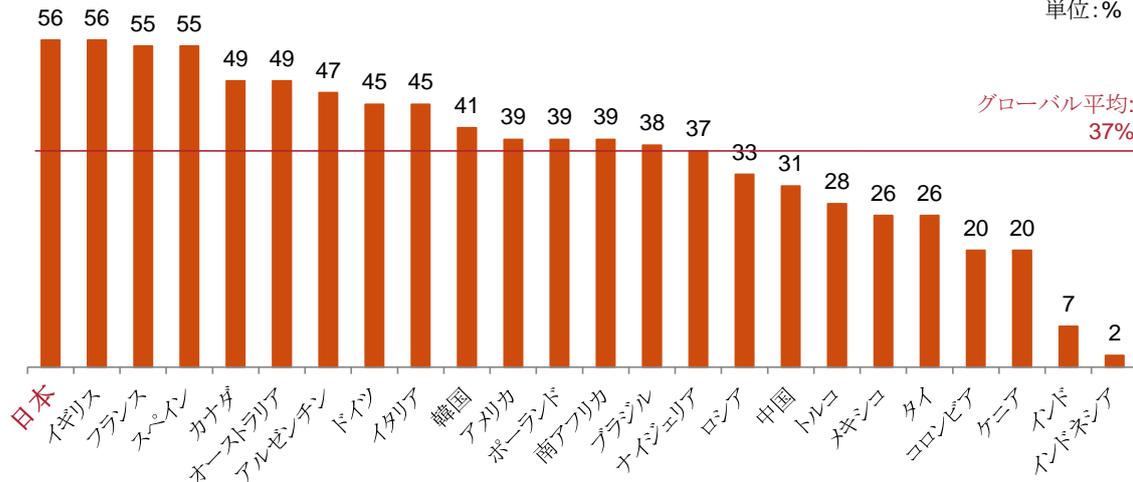
調査名:グローバル・モニター2014、出所:ザ・フューチャーズ・カンパニー社

■ 週に一度以上アルコール飲料を飲む人の割合で 24 カ国平均は 37%

次に、アルコール飲料を飲む頻度が週に一度以上(毎日飲むと回答した人を含む)の場合を集計したところ、24 カ国の平均が 37%で、日本とイギリスの 56%が最も高い割合となりました。

週に一度以上アルコール飲料を飲む

単位:%



調査名:グローバル・モニター2014、出所:ザ・フューチャーズ・カンパニー社

News Release

■ まとめ

この調査から、日本では、他国に比べてアルコール飲料を習慣的に摂取する人の割合が高いことがわかります。

■ 調査概要

カンター・ジャパンは、24カ国の市場トレンドの把握と将来予測(シナリオ・プランニング)を行い、その情報・分析レポートを企業に提供しています。調査を実施しているのは、同じカンター・グループに属するザ・フューチャーズ・カンパニー社です。

- 調査名称:「グローバル・モニター」
- 調査頻度:年 1 回
- 調査時期:2014 年 2 月から 3 月
- 調査方法:主にインターネット調査(日本含む)。国により対面調査
- 調査対象:16 歳以上の男女
- 対象者数:24 カ国で n=24,000(調整を実施)。日本は 977 名
- 調査国:日本、韓国、中国、インド、インドネシア、タイ、イギリス、フランス、ドイツ、イタリア、スペイン、アメリカ、カナダ、オーストラリア、ロシア、ポーランド、トルコ、南アフリカ、ケニア、ナイジェリア、メキシコ、コロンビア、ブラジル、アルゼンチン

the
futures
company

本文を引用される場合は、出典が「カンター・ジャパン」であることを明記してください。

■ カンター・ジャパン会社概要

カンター・ジャパンは、前身企業から数えると日本で 50 年超の歴史を持つ市場調査会社です。12 の企業(グループ)で構成されるカンター・グループに属し、日本だけでなく海外の消費者調査まで幅広く手掛けています。親会社は、世界有数の広告会社であるイギリスの WPP(ダブリュー・ピー・ピー)です。

- 社名:株式会社カンター・ジャパン
- 本社:東京都渋谷区代々木 2-1-1 新宿マインズタワー6F、7F
- 代表取締役社長:大竹秀彦
- 事業内容:市場調査、およびそれに付随するアドバイザー業務
- ウェブサイト:<http://www.kantar.jp>

本件に関するお問い合わせ先

株式会社カンター・ジャパン 広報 東園 E-mail:Marketing@kantar.co.jp Tel:03-6859-3229